

令和4年8月25日

関西療院（MOAかんさい健康センター）

「みんなで創るこころと体の健康ひろば」（コンセプト）

【基本理念】

現代は、世界的な新型コロナウイルス感染症の拡大、環境問題や自然災害をはじめ、生活習慣病やストレスによる心の病の増加、孤立・孤独の社会の中にあります。こうした時だからこそ、一人ひとりが健康の尊さを実感し、「生きる意味」の価値を求めています。

こうした諸問題に対して、世界的なSDGsの動きをはじめ、日本においても「地域包括ケア」システムの構築、絆で結ばれたコミュニティづくりが求められています。

近年、一人ひとりの状況を考慮に入れた患者中心の医療として、統合医療が世界的に注目されています。それは、病気の治療だけでなく、予防から看取りまでを含み、生活習慣を改善し、生活の質と生きがいを支える医療を目指す動きであり、諸問題に対する有効な方法と考えられるからです。

こうした背景から、「関西療院」は、地域に根差して健康づくりを行う「MOA 健康生活ネットワーク」と連携して、身体、心、霊性（魂・スピリチュアリティ）を持つ人間観をベースに、一人ひとりを大切に、病気を予防するだけでなく、重い病気にならない体づくりや、QOL（生活の質）の向上を図ることで、心身の健康をサポートしています。

具体的には、近代医療の優れた点を基本に、健康づくりに有効な各種療法と、「岡田式健康法」を併用した、総合的な健康づくりを提案しています。

岡田式健康法は、生命力に満ちた食材を活かした「食事法」、美（お花、お茶）を楽しむ「美術文化法」、大自然のエネルギーで体内の毒素を解消する「浄化療法」の3つを融合し、自然治癒力を発揮させ、心の健康、霊性の向上へと導いていきます。

健康的なライフスタイルを身に着けるには、食事や運動などの生活習慣や、心の持ち方が、霊性まで含めた心身の健康にとって大切な鍵を握ります。

関西療院は、各地域でボランティアとして活躍する「岡田式健康法資格者」との協力体制のもと、自然に順応した健康的な生活習慣を身につけ、生きがいを持てる、互いに支え合うスピリチュアルな共助の輪を拡げ、情報を発信し、心身ともに健康な人づくりから、まちづくりを進めてまいります。

以 上